

障がい者や高齢者は、避難行動に時間がかかります。日頃から避難時に必要な準備をしておき、早めの避難開始を心がけましょう。

災害への備え 4か条

- ① 備蓄・非常持ち出し品のチェック
- ② 家具の転倒防止、ヘルプカード・ヘルプ手帳・救急キットの準備
- ③ 地域の人々の障がい理解
- ④ 災害発生時の対応の確認

① 備蓄・非常持ち出し品のチェック

- 被災直後は誰もが混乱しています。避難所で障がい者の支援体制が整うまで、飲料水・食料の備蓄は最低でも3日分を用意しておきましょう。
- 自分に必要なものを準備しておきましょう。

【視覚障がいの方】

眼鏡、白杖、時計(音声式・接触式等)、緊急時の連絡先の点字メモ、携帯点字機、メモ用録音機、携帯式ラジオ(カード式等)、常備薬など

【聴覚障がい・音声言語機能障がいの方】

メモ用紙、筆記具(筆談用)、笛、警報ブザー、予備の補聴器、携帯用会話補助装置、バッテリー(電池等)、防災バンダナ、緊急会話カード、常備薬など

【車いすユーザー、肢体不自由の方】

おぶいひも、電動車いす用バッテリー(充電器)、予備の車イスや歩行補助具、予備の補装具(古くなったものなど)、排泄処理用具、床ずれ対策ができるもの、常備薬など

【内部障がい(難病・特定疾患)の方】

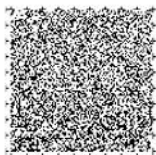
医療機材、治療食、ストマ用器具、洗腸セット(水・ウエットティッシュ・ビニール袋・輪ゴム・はさみ)、医療機関等の連絡先メモ、常備薬など

【知的障がい・発達障がい・精神障がいの方】

本人がこだわりを持っている品、本人が食べられる食材、絵カード(ボード)、イヤーマフ・ヘッドホン、お薬手帳などのコピー、常備薬など

② 家具の転倒防止、ヘルプカード・ヘルプ手帳・救急キットの準備

- 家具の転倒防止、ヘルプカードや救急医療災害支援情報キットを準備し、災害時に適切な支援が得られるよう日頃から備えておきましょう。
- 小金井市が配布しているヘルプカード・ヘルプ手帳・救急キットを受け取っておきましょう。



【ヘルプカード・ヘルプ手帳】

障害者手帳をお持ちの方や難病に罹患している方が携帯して、災害時や緊急時に周囲に支援を求める手段として使用するヘルプカード及びヘルプ手帳を配布しています。

ヘルプカード

援助を必要としている方が携帯し、いざというときに必要な支援を周囲の方をお願いするカードです。

ヘルプ手帳

ヘルプカードより記入できる情報量が多いため、ヘルプカードと併せて持つことで、緊急時に周囲の人に伝える情報が増え、幅広い支援につながります。

配布対象：市内在住・在学・在勤で、障害者手帳をお持ちの方または小金井市難病者福祉手当を受給している方

お問い合わせ：自立生活支援課(電話042-387-9841)



【救急医療災害支援情報キット】

救急時や災害時に備えて、かかりつけ医、持病、服薬状況、緊急連絡先、障がいの程度、支援上の留意点などを記入した情報シートや保険証の写しなどを入れて保管しておく容器です。

配布対象：身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1・2度、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、難病者福祉手当を受給されている方およびそれに準ずる方
お問い合わせ：地域福祉課(電話042-387-9915)



③ 地域の人々の障がい理解

- 「避難行動要支援者支援事業」を活用し、地域の防災訓練などに積極的に参加して、支援者や地域の人々に障がいがあることを理解してもらいましょう。

【避難行動要支援者名簿へ登録しましょう!】

避難行動要支援者名簿とは、小金井市内に住所を有する一人暮らしの高齢者や障がい者等のうち、災害時に自力で避難できないなど、避難にあたり支援を要する方への支援制度です。**一人で避難が困難な方は出来るだけ事前に登録しておきましょう。**

お問い合わせ：地域福祉課(電話042-387-9915)

④ 災害発生時の対応の確認

- 家族や職場、支援の人などと、災害発生時の連絡方法や避難方法・避難場所を決めて、確認しておきましょう。災害時支援の医療機関も把握し、リスト化しておきましょう。

